

改訂履歴

○ Ver. 3.0 改訂第四版 改訂内容 (2018 年 7 月)

1. 部品を操作関数のパラメータ指定の KSINGL/KARRAY/KALL により部品アドレスの型が変わる仕様のためコーディングミスをコンパイル時に発見しやすくするために、以下のサービス関数とプロトタイプ宣言を追加。

[X-Mate ウィンドウ・ライブラリ関連]

• TKentrySingle(core , &obj.hed);	: TKentry(core, KSINGL, &obj.hed);	の代用
• TKentryArray(core , &objs[0]);	: TKentry(core, KARRAY, &objs[0]);	の代用
• TKdeleteSingle(core , &obj.hed);	: TKdelete(core, KSINGL, &obj.hed);	の代用
• TKdeleteArray(core , &objs[0]);	: TKdelete(core, KARRAY, &objs[0]);	の代用
• TKdeleteAll(core);	: TKdelete(core, KALL, NULL);	の代用
• TKdisplaySingle(core , &obj.hed);	: TKdisplay (core, KSINGL, &obj.hed);	の代用
• TKdisplayArray(core , &objs[0]);	: TKdisplay (core, KARRAY, &objs[0]);	の代用
• TKdisplayAll(core);	: TKdisplay (core, KALL, NULL);	の代用
• TKeraseSingle(core , &obj.hed);	: TKerase (core, KSINGL, &obj.hed);	の代用
• TKeraseArray(core , &objs[0]);	: TKerase (core, KARRAY, &objs[0]);	の代用
• TKeraseAll(core);	: TKerase (core, KALL, NULL);	の代用

※ 配列の場合 Ktobj 型以外ではキャストは必要です

[グラフ表示支援ライブラリ関連]

• TKgrentrySingle(grcore, &obj.hed, bdsp);	: TKgrentry(grcore, KSINGL, &obj.hed, bdsp);	の代用
• TKgrentryArray(grcore, &objs[0], bdsp);	: TKgrentry(grcore, KARRAY, &objs[0], bdsp);	の代用
• TKgrdeleteSingle(grcore, &obj.hed, bdsp);	: TKgrdelete(grcore, KSINGL, &obj.hed, bdsp);	の代用
• TKgrdeleteArray(grcore, &objs[0], bdsp);	: TKgrdelete(grcore, KARRAY, &objs[0], bdsp);	の代用
• TKgrdeleteAll(grcore, bdsp);	: TKgrdelete(grcore, KALL, NULL, bdsp);	の代用
• TKgrdisplaySingle(grcore, &obj.hed, bdsp);	: TKgrdisplay(grcore, KSINGL, &obj.hed, bdsp);	の代用
• TKgrdisplayArray(grcore, &objs[0], bdsp);	: TKgrdisplay(grcore, KARRAY, &objs[0], bdsp);	の代用
• TKgrdisplayAll(grcore, bdsp);	: TKgrdisplay(grcore, KALL, NULL, bdsp);	の代用
• TKgreraseSingle(grcore, &obj.hed, bdsp);	: TKgrerase(grcore, KSINGL, &obj.hed, bdsp);	の代用
• TKgreraseArray(grcore, &objs[0], bdsp);	: TKgrerase(grcore, KARRAY, &objs[0], bdsp);	の代用
• TKgreraseAll(grcore, bdsp);	: TKgrerase(grcore, KALL, NULL, bdsp);	の代用

※ 配列の場合 Kgrobj 型以外ではキャストは必要です

2. プロトタイプ宣言によるコンパイルの注意点

- 32bit 開発時は、デフォルトで無効となっています。define 宣言 TKPROTO を設定してください。

例) gcc -DTKPROTO ... xxxx.c

- 64bit 開発時は、デフォルトで有効となります。TKPROTO 指定は不要です。

但し、無効にすることはできません。

○ Ver. 3.0 改訂第三版 改訂内容 (2010 年 4 月)

3. マニュアル全般において、末尾頁に記載の『問い合わせ先』を削除。(移転により住所変更のため)
4. マニュアル全般において、『FDS ウィンドウライブラリ』を『X-Mate 開発ライブラリ』へ統一。
5. 『リファレンス・マニュアル』
64bitOS 対応に於いて X-Mate 内部管理の都合により構造体メンバの型を一部変更。
 - ・P.44 Ktbutn 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.48 Ktitext 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.50 Ktntext 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.54 Ktidata 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.58 Ktdata3 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.68 Ktpoit 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.77 Ktmitem 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.77 Ktnmenu 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.83 Ktlitem 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
 - ・P.83 Ktlist 構造体メンバ id の型を int から XID に変更。
6. 『グラフ表示支援ライブラリリファレンスマニュアル』に「棒グラフ 3 A」部品情報を追加

○ Ver. 3.0 改訂第二版 改訂内容

7. 本改訂より電子マニュアル(pdfファイル)対応。紙製本マニュアルの終了。
8. 『インストールガイド』
 - ・ 「5 X-Mate 動作時 Q&A」の章を『動作時 Q&A』ファイルへ移動。
9. 『リファレンス・マニュアル』
 - ・ P.8 部品共通ヘッダ情報の flag 説明において、理論高さ指定の define 名が誤っていた。
 - ・ P.20 新矩形部品の説明を追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.24 新円弧部品の説明を追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.30 新ポリゴン部品の説明を追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.59 データ 3 部品のmodeに「表計算」モードを追加。
 - ・ P.85 リスト部品のアイテム定義情報の構造体名が誤っていた。(正:Ktlitem)
 - ・ P.96 新帳票部品のdmodeに「表計算」モードを追加。
 - ・ P.102 表計算機能の説明を追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.121 TKmapping 関数の戻り値が void になっていた。(正:int) 及び、内容説明を追加。
 - ・ P.130 TKsend 関数の戻り値が void になっていた。(正:int) 及び、内容説明を追加。
 - ・ P.131 TKkeysw 関数の戻り値が void になっていた。(正:int) 及び、内容説明を追加。
 - ・ P.132 TKkeyoff 関数の戻り値が void になっていた。(正:int) 及び、内容説明を追加。
 - ・ P.135 TKgetbuff 関数の戻り値の取扱方法を追加。
 - ・ P.151 TKchgcursor2 関数の戻り値が int になっていた。(正:void)
 - ・ P.153 TKlabelent 関数の戻り値が int になっていた。(正:void)
 - ・ P.154 TKlabeldel 関数の戻り値が int になっていた。(正:void)
 - ・ P.157 スクロールバー部品スクロール量変更関数(TKsbarinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.158 リスト部品スクロール量変更関数(TKlistinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.159 ラスター部品スクロール量変更関数(TKrastinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.160 キャンバス部品スクロール量変更関数(TKcanvinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.161 帳票部品スクロール量変更関数(TKtablinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.162 新帳票部品スクロール量変更関数(TKtbl2inc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ P.163 新テキスト部品スクロール量変更関数(TKntextinc)の説明追加。(従来は「補足 追加情報」に記載)
 - ・ 従来の『補足 追加情報』の章を削除。
10. 『グラフ表示支援ライブラリ』
 - ・ P.90 サンプルプログラムの修正。(core dump する場合があった)